

## 【22\_342技術系メルマガ】フォワードテストと検証の両立は出来るか？

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

トレードの『型』が出来上がってから次にやる作業は、その『型』が納得のいく収支を上げてくれるかを確認する為に

『フォワードテスト』をやろうという話を過去に何度かしていますが

実際それに着手している方の中には、こんな疑問が湧く人もいるかもしれません。

「テスト中に気になることが出てきたから検証しないといけないけど、テストを止めてやるべきか？」と。

実際メルマガテーマのアンケートでも、そのような質問が届いています。

▼質問はコチラ▼

[https://kuro-gaki.com/muhai\\_saisoku/others/2022-12-09.png](https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-12-09.png)

そこで、今回このご質問に対する僕の考えと、僕がどうしているかの両面で話をしようと思います。

□  
└─ ■ 最初に作る『型』は完全ではない

まず結論から言うと、内容によりますがほとんどのケースでは、検証のためにテストをストップさせる必要はありません。

少々大変ですが、テスト運用は継続しながら疑問点・問題点の検証は並行して行うべきです。

これは当たり前の前提といっても良いと思いますが

これからテストをするという段階の『型』というのは、実際に運用してみるまで

その問題点が見えないことがほとんどです。

ですから、運用過程で問題点・疑問点が出てこない方がおかしいわけです。

だからといって、その問題点が見つかるたびにテストを止めてしまつては、実戦データが詰みあがっていきませんから

一定期間の利回りなどを確認する為にも、『決めた型通りに運用する』ことは継続することが重要です。

僕が実際に今でもやっているのは、例えば新しいものでも現行のものでも、『型』で運用している途中で気付いたことがあった場合

それをすぐノートに書き留めておきます。

例えば、トレードしながら値が伸びなかったエントリーを見た際『M5足の20MAが逆方向に向き始めているときに、伸びが悪くなっている気がする』

と気付いた場合、それが主観的なモノ(気のせい)なのか、実際にその傾向があるのかを確認するため

自分がトレードする時間外のタイミングや、週末を利用してそのケースの検証母数を集めます(大体、いつも100個くらいのサンプルを集めて傾向を見ます)

もし、そこから何らかの傾向が見られ、テスト中のルールに修正として追加・削除が可能なのであれば

それをルールに反映してテストを継続していきます。

そして、その結果の良し悪しも比較しながら勝率・利回りは常にチェックする。

短期間にあまりコロコロ追加・削除するのは良くないですが、僕の場合はそういった細かいルールの修正を1~2カ月に1回くらいの頻度で行います。

この時大事ななのは、そのルール変更を『月末』に行う事です。

そうしないと、質問者さんが書いて下さっているように

ルール変更前と変更後での結果の比較が行えず、そのルールの修正が良かったのか悪かったのかも判断できなくなってしまうます。

疑問点・問題点は放置せず、気付いた時点でなるべく早く検証して潰すこと。

そして、そのルールの反映は、後に結果を比較しやすくするために『月の切り替わり』で行う事。

この点を意識しながら、可能な範囲でテストと検証を両立させていければ

徐々に自分の『型』が洗練されていくはずです。